

# 美和西小学校便り

令和5年度

10月号

## 美和西小最後の運動会 歴史にのこる素晴らしい運動会になりました！



今年度は9月16日(土)、さわやかな秋の空気に包まれて、秋季大運動会を開催することができました。児童は笑顔で元気いっぱいに取り組み、保護者の皆様には最後まで温かな声援を送っていただきました。

今年の運動会の「心をついに 美和西最後の運動会」のスローガンのもと、児童一人一人が自分の力を十分発揮し、仲間と共に声掛け合いながらがんばる姿がたくさん見られました。

「美和西ダイアリー」では、曲のリズムに乗って元気いっぱい踊る1, 2, 3年生の子どもたち。「～心をついに26人のソ

ラン魂～」では、一人一人の技が力強く決まっていた高学年らしさをみせてくれた4, 5, 6年生の子どもたち。演技だけでなく開閉会式での子どもたちの態度、姿勢も大変立派でした。目を見て話を聞くこと、礼を合わせること、話をしっかり聞くこともしっかりとできていました。運動会の歌や校歌斉唱においては、心を合わせて歌っていたので歌声が大きな塊となってグラウンド中に響き渡りました。また、昨年度に引き続き、「美和小唄」を実施することができました。事前練習では、地域の方に来ていただきご指導いただきました。1年生にとっては初めての演技ではありましたが、上級生が踊る姿を見ながらじょうずに踊ることができました。多くの卒業生、地域・保護者の方が参加されたことで、一体感があり温かな雰囲気会場が包まれていきました。

運動会終了後は、大勢の保護者の皆様にテントや万国旗などの片付けにご協力をいただき、短時間で終了しました。保護者の皆様の素早い動き、チームワークのよさが本校の自慢の一つだなと実感いたしました。感謝の気持ちでいっぱいです。

子どもたちの運動会におけるがんばりをこれからの学校生活に生かして、地域とともにある学校づくりができますよう教職員一同取り組んでいきたいと思っております。これからも、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力いただきますようお願いいたします。

校長 西浦直樹



# 「地域と共にある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」をめざして

去る9月28日(木)に、今年度第2回の本校学校運営協議会を行いました。

この日はまず、8月2日(水)に行った小・中・高合同研修会での熟議(話し合い)の内容についてふり返りました。当日は、美和地区の児童・生徒の「強み」と「弱み」について意見を出し合ったのですが、その熟議の中で出された約400の意見を美和中学校の協力のもと、美和町の児童生徒の特徴として次のように整理したことについて報告しました。

## ＜美和町の児童生徒の強み＞

- ・友人同士の信頼関係がある。
- ・学年や性別に関係なく仲がよい。
- ・人懐っこく、素直であり、明るく挨拶することができる。
- ・友達の弱みを受け入れて仲良くすることができ、人間関係が濃厚である。
- ・学習意欲や活発さがみられる。

## ＜美和町の児童生徒の弱み＞

- ・やや控えめであり、新しい関係構築に苦勞することがある。
- ・一部の子どもたちはやや乱暴な言葉遣いをしたり、メディアコントロールが難しかったりする傾向がある。
- ・学力差や学習意欲の差があり、自分で計画し行動する力が弱い場合もある。

※ 様々な立場の方々から出されたたくさんの意見を集約したものであり、児童生徒の特徴を断定するものではありません。

次に、4月に行った全国学力調査の6年生算数の問題の中の1問に、委員の皆様挑戦をしていただいた上で、今、子どもたちに求められている学力について一緒に考えていただきました。



続いて、6年生の児童が加わって、委員の皆様との熟議を行いました。

テーマは、「学力向上のために何をしよう?」でした。6年生は、あらかじめまとめてきた自分の考えを付箋紙に書き、委員の皆様と意見を交換しました。



熟議の中では、「子どもたちが自分でできること」、「学校にできること(子どもたちがしてほしいと思っていること ※以降同様)」、「家庭にできること」、「地域にできること」の4つのカテゴリーに分けて意見を出し合いました。その中からいくつかをご紹介します。

## ＜子どもたちにできること＞

- ・授業中先生の話をしっかり聞く。
- ・授業中積極的に手を挙げる。
- ・宿題を丁寧にする。
- ・読書をする。
- ・自主学习をする。
- ・予習、復習をする。

## ＜学校にできること＞

- ・楽しい授業づくり。
- ・グループでの話し合いの時間を増やす。
- ・個人で考える時間を増やす。
- ・個人に対する指導をする。
- ・応用問題を扱う。

## ＜家庭にできること＞

- ・基本的な生活習慣づくり。
- ・早寝・早起き・朝ご飯。
- ・睡眠時間の確保。
- ・静かに勉強できる環境づくり。
- ・友達やきょうだいと比べない。
- ・勉強する時間を決める。

## ＜地域にできること＞

- ・体験のサポート。
- ・学習支援ボランティアへの参加。
- ・笑顔で挨拶する。(元気が出る)
- ・放課後に勉強を教える。
- ・学校に来て授業を見る。

「大人の考え」と、「子どもの願い」が混在する内容ですが、それぞれの立場で、できることから少しずつでも始めていけるとよいですね。

当日はその後、岩国市教育委員会生涯学習課からお越しいただいた平畑社会教育主事様より、地域連携教育の狙いの再確認などについての講話をいただいたり、職員と委員の皆様との交流の時間を設けたりして、大変有意義な協議会となりました。